

清水の子



◇学びを広げる子
◇思いやりあふれる子
◇たくましさみなぎる子

TEL 33-7285

Eメール simizu-es1@hokkaido.school.ed.jp

第 6 号 令和 4 年 8 月 2 6 日 発行

充実した2学期を目指します

27日間の夏休みが終わり、子どもたちの元気や姿と笑顔が学校中にあふれています。子どもたちが夏休みのお土産として持ってきた作品や自由研究を見ていると、じっくりと時間をかけて取り組んだことが伝わってきます。

2学期は、学芸会や6年生の修学旅行などの学校行事があり、日常の学習成果と子どもたちの成長を確かめられる時期です。

昨日の始業式の中で、私から児童全員に「2学期がんばってほしいこと」を以下のように伝えています。ご家庭でのご理解ご協力のほど、2学期もよろしくお願い申し上げます。

【あたま】◆説明・発表・話し合い ◆読書大好き 清水の子 ◆家庭学習 学年×10分+10分
【こころ】◆いじめゼロ ◆自分から元気なあいさつ ◆ちがう学年との交流・ふれあい
【からだ】◆休み時間は元気に遊ぶ ◆なわとびなどの運動 ◆新型コロナの感染予防
【行事】◆学芸会 ◆修学旅行（6年生）

子どもの声に耳を傾けて

新学期を迎え、新たな目標を見つけて目を輝かせている子どもがいる一方で、生活のリズムがつかめない子どもを見かけるのもこの時期です。長い休みの間に身に付いてしまった生活リズムを取り戻すのは、難しいものです。われわれ大人でも、長い休みのあとはやる気が起きないことがあります。これは子どもも同じです。「学校に行きたくない」と子どもに言われたら、とかく大人はこの現象を重要視し、その要因になっていることにはあまり目を向けず、解決方法を探ろうとしがちです。親としては、なんとか学校に行かせなくてはならないという思いがあれば当然のことです。

令和2年度の文部科学省の調査によれば、全国の小学校で63,350人の児童が不登校状況にあるとされています。そして、その理由の上位は、①本人の無気力・不安（46.3%）、②家庭に係る状況（20%）、③生活リズムの乱れ等（14.0%）と続きます。また、4.9%の子どもはどれにも該当しない（理由が不明なもの含む）という結果になっています。

今、目の前にいる子どもたちがどんな思いをしているのかを知るには、まずは会話からです。決して言ったことを否定しないようにすれば、必ず心の内を言葉で表現し始めるはずです。

学校でも、このようなことを大切に2学期を送っていきたいと思っています。ご家庭でも大切にしてみてください。また、本校では、スクールカウンセラーが定期的に相談を受け付けております。お困りのことがありましたら、学校にご相談ください。一緒に考えましょう。